



## 阿井 英二郎 Eijiro Ai

《 生年月日 / 出身地 》

1964年9月29日 / 茨城県

東京農業大学第二高校時代の1982年の夏の甲子園に4番エースとして出場。  
同年のドラフト会議でヤクルトスワローズから3位指名を受け入団。現役時代は主に中継ぎとして活躍。  
1992年に現役引退。  
引退後は医療機器メーカーに勤務しながら日本大学文理学部史学専攻の通信教育に通い教員免許を取得。  
つくば秀英高校、川越東高校の地理歴史教諭および野球部監督を経て、2012年11月北海道日本ハムファイターズの一軍ヘッドコーチ就任。  
在任期間中は主に若手から中堅選手の自己成長するための土壌作りに尽力。  
2014、15年にはチームを2年連続でCS出場に導く。  
2015年10月退団。  
現在は筑波大学大学院人間総合科学研究科で学びながら、企業の社員の意識改革に向けた教育に携わる。

### 《 主な経歴 》

- ・現役引退後は医療機器メーカーのアトムメディカルに勤務しながら日本大学文理学部史学専攻の通信教育に通い教員免許を取得
- 1997年 つくば秀英高等学校地理歴史科教員として着任
- 1999年 同高等学校の野球同好会が野球部になるのをきっかけに野球部監督に就任
- ・選手の体調を第一に配慮しながら戦術論などを丁寧に説明することを心がけ、3年目の2001年には夏の県大会でベスト8に進出
- 2005年 川越東高等学校の地理歴史教諭として着任、同校の野球部監督も務める
- 2009年 秋の県大会ベスト4進出。21世紀枠の候補校として推薦される。多数のプロ野球選手輩出
- 2012年11月 北海道日本ハムファイターズの一軍ヘッドコーチに就任
- ・NPBでのプレー経験がある元プロ野球選手が、高校教員と高校野球の監督を歴任した後に、コーチとしてNPB加盟球団に復帰した事例は初めて
- ・就任後は、従来のヘッドコーチ像とは一線を画した役割で、選手への技術指導は担当コーチに任せ、選手との関わりを増やし面談などを通じて目標設定や共有を図り、選手たちの心のケアと教育を担う。特に、大谷翔平、近藤健介、中田翔、斎藤佑樹など若手から中堅と呼ばれる選手たちが自己成長するための土壌作りに重んじた。
- ・在任期間中の一軍は、就任した1年目の2013年こそ12年ぶりの最下位だったが、2014、2015年は2年連続クライマックスシリーズにも出場
- 2015年10月 退団発表
- ・退任発表を機に、複数の高校や大学から指導者としての受け入れを打診されるが、「野球における心理と行動のつながりを学び直したい」という理由で打診を固辞した。
- 2016年 筑波大学大学院人間総合科学研究科で学びながら、一般企業での社員、高校教諭やプロ野球ヘッドコーチの経験を活かし、若手・中堅社員育成、管理職教育など企業の社員の意識改革に向けた教育に携わる。
- ・現在、北海道新聞で評論家として活動「ファイターズアイ」「背番号の本音」を担当
- ・2018年 茨城県美浦村親善大使任命